謹啓　貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の勲章につきましては、早速ご丁重なご祝辞を賜り過分の

ご芳志を頂戴いたしました。ご厚情のほど誠にありがたく厚くお礼申し

上げます。

この光栄も偏に業界をはじめ、各界の皆様の日ごろのご指導とご支援の

賜と衷心より感謝申し上げる次第であります。

これからは健康に留意して、お寄せいただいたご厚情にお報いするべく

努めたいと存じますので、今後一層のご交差ご鞭撻を賜りますようお願い

申し上げます。

本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところでございますが、書中

をもちまして、お礼申し上げます。

敬白

○○○○年○○月○○日

株式会社　○○

　　代表取締役社長　○○　○○